

2017年11月21日

特定非営利活動法人
健康医療開発機構

第41回
ネットワークセミナー

星槎
井上 一

星 槎

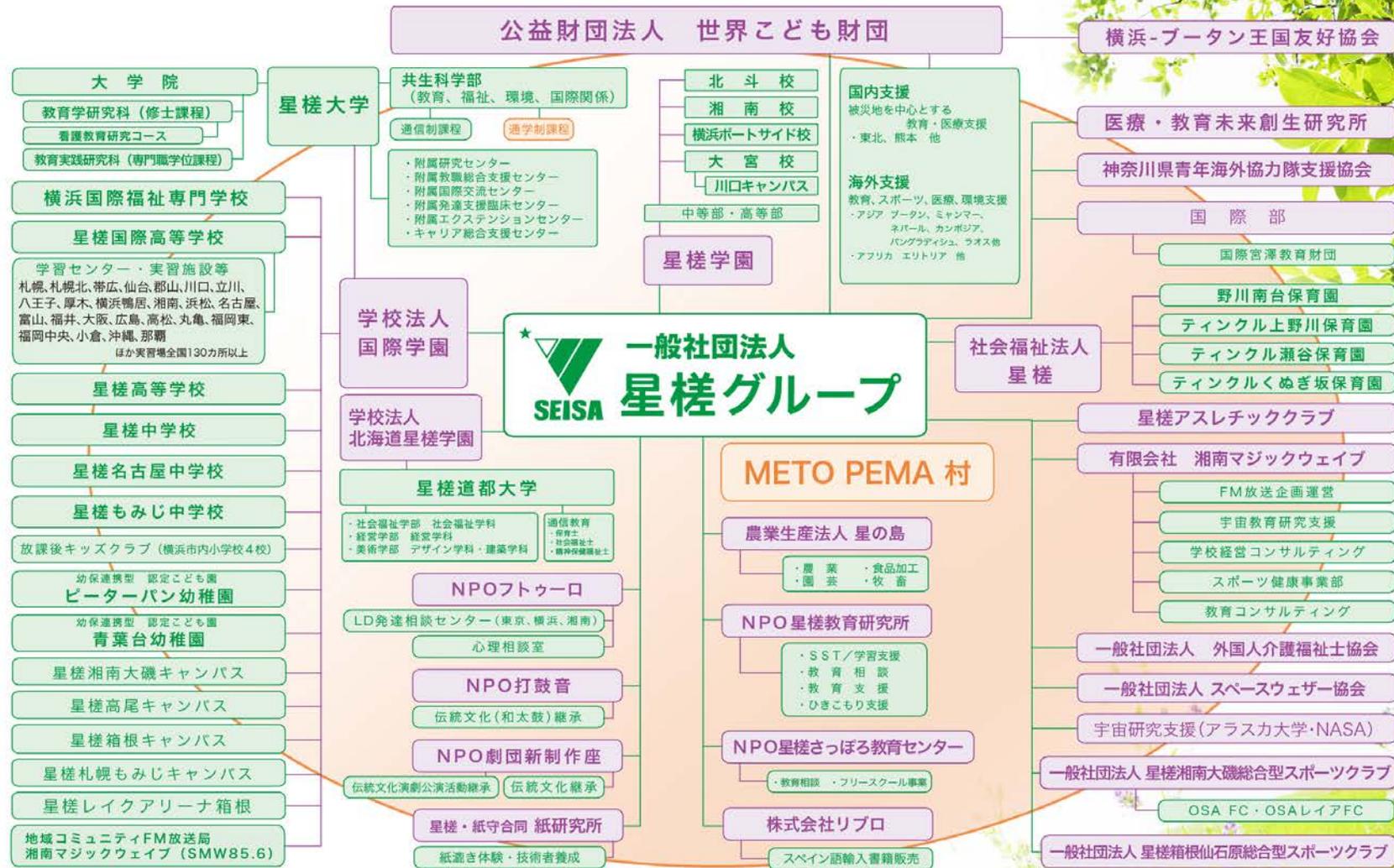
ほしのいかだ Star Raft

(意味)

1. 一本一本異なる材木を縄で繋いで船としたもの。港がなくとも上陸可能。風がないと前進不可。時々、制御不能…。
2. 必要とする人の所に飛んで行って役に立ちたいと無茶した中国の春秋時代の若者に関する故事。
3. 宇宙船。乗っている人は基本、宇宙人（ぽい）。

星槎グループ

「人を認める・人を排除しない・仲間を作る」という星槎の三つの約束のもと、「社会に必要とされることを創造し、新たな道を切り開き、それを成し遂げる」集团です。 2017.07



■ 既設法人 □ 既設 □ 新設予定

総合案内 ■ 星槎グループ TEL.0463-71-6046 URL <http://www.seisagroup.jp>

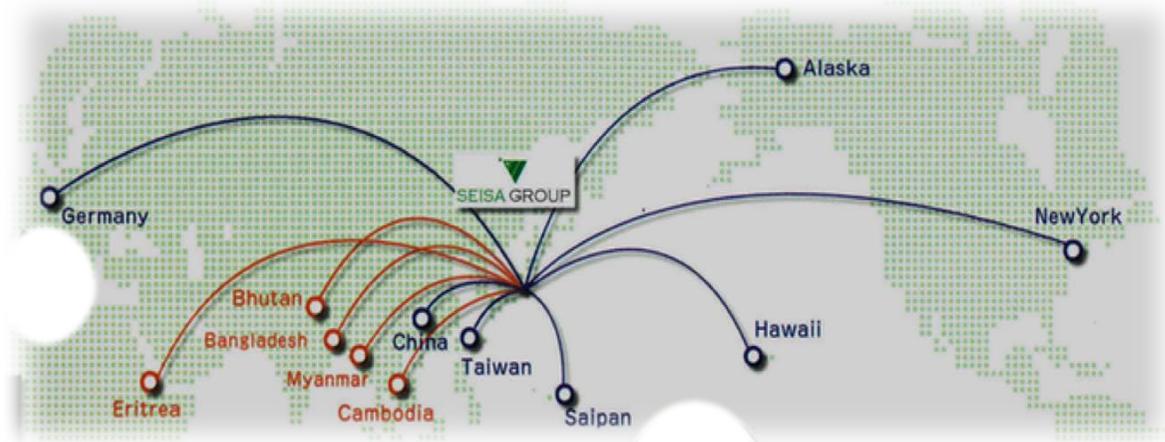
星槎の戦い（教育分野）



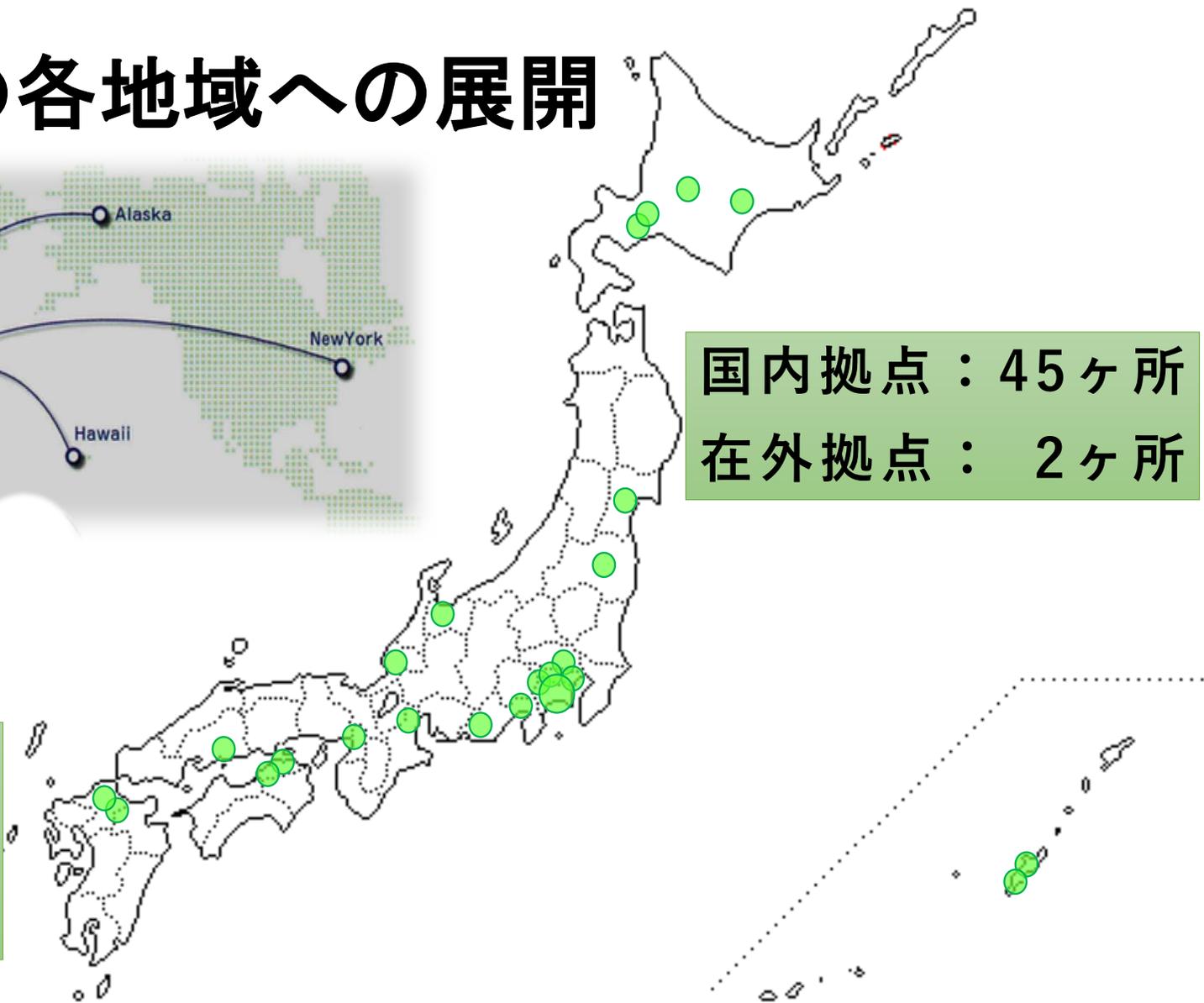
対象 ⇒ 垂直的な展開(年齢層) と 水平的な展開(属性)

- 社会的必要性 → 必要性がありながらも光がなかなか当たらない領域への積極的展開
- 星槎の理念を伝えるための教育環境の整備
- 対象の多様化による相乗効果

星槎グループの各地域への展開



国内拠点：45ヶ所
在外拠点：2ヶ所



このほかに
高校との連携校 79校
大学との連携校 48校
計 127校

オリックス ドラフト4位 本田仁海
星槎国際高等学校湘南学習センター3年
本日、仮契約！



A photograph of a man with white hair and glasses, wearing a dark jacket and jeans, standing on a stage and pointing towards a large crowd of people seated outdoors. The background shows a large building and trees.

Since 1972

創設者
星槎グループ
会長 宮澤保夫



理念

人を認める

人を排除しない

仲間を作る

星槎の三つの約束

社会に必要とされることを創造し

常に新たな道を切り開き

それを成し遂げる

困難な場面において、
相手を想い、
笑顔と勇気を持って立ち向かう
強い心の育成

学ぶ権利

学習権

国民が教育を受ける権利 → 学習する権利・学習を保証する義務

憲法第26条 第1項

すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。

憲法第26条 第2項

すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負ふ。義務教育は、これを無償とする。

教育基本法 第一条 (教育の目的)

教育は、人格の完成をめざし、平和的な国家及び社会の形成者として、真理と正義を愛し、個人の価値をたつとび、勤労と責任を重んじ、自主的精神に充ちた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

学ぶ形は学習者自身が選択できるようにすべきである。

「こどもに適應していない学校へ行かなくてはならない」という無言の圧力に悩む生徒や保護者のために。

「こどもに適應していない既存の教育システム」を打破し、**学習権を普通に行使できるという当たり前理想**を目指し前進し続ける。

教育基本法

第一条 (教育の目的)

- 教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

第二条 (教育の目標)

- 教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。
- 1 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 2 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 3 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 4 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 5 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

第三条 (生涯教育の理念)

- 国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

第四条 (教育の機会均等)

- 1 すべて国民は、ひとしく、その能力に応じた教育を受ける機会を与えられなければならないが、人種、信条、性別、社会的身分、経済的地位又は門地によって、教育上差別されない。
- 2 国及び地方公共団体は、障害のある者が、その障害の状態に応じ、十分な教育を受けられるよう、教育上必要な支援を講じなければならない。
- 3 国及び地方公共団体は、能力があるにもかかわらず、経済的理由によって修学が困難な者に対して、奨学の措置を講じなければならない。

歴史を変えた取り組み

宮澤学園

(現・星槎学園)

技能教育施設

学校教育法45条の2 (旧法)
* 現55条

星槎国際高等学校

登校型通信制高等学校

学習センター方式
登校日数等をこどもが決める

学ぶ
権利

星槎中学高等学校

こどもに合わせられる
全日制中学高校

教育課程弾力化 + ICT
構造改革特区

星槎大学・大学院

現職教員等が
学ぶ「大学」

在籍年限なし
従量制校納金 etc

宮澤（星槎）学園

実行目標

- 限られた原資で高等学校の卒業証書を取得できる学び舎
- 学校法人に準じた公益性に基づく非課税認定を受ける
- 学割定期の発行を受ける
- 従来 of 企業内設置ではなく独立した技能教育施設の創設

壁

- 前例がないことから行政機関の理解・行動が進まない
- 開設資金が不足、担保物権もない
- 学校用地がない、対応できる教員の不足

アクション

- 社会的必要性を理解する協力者(地主・金融機関など)を巻き込む
- 憲法上の権利（学習権保障）を軸に理解を求める
- 趣旨を理解してくれる既存の通信制高校との提携
- 日本初の独立型技能教育施設の設置



1985 宮澤学園設置(学校法人ではない)

発展

- 開設時 100人定員に170人の応募。その後も年間300人程度の卒業生輩出。
- ▶ この後日本中に同様の学び舎が生まれるが、学校法人に準じた非課税団体としては未だに日本で唯一の存在。

星槎国際高等学校

実行目標

一条校の設置
自主性

- ▶ 連携校である星槎学園では、決定権がない。
- ▶ 登校日数、教育内容等、子どもに合わせられない。
- ▶ 全国展開を求める声
- ▶ 技能教育施設の限界

壁

- ▶ 前例がない、行政機関の無理解
- ▶ 少子化に伴う高等学校設置に対する抑制傾向

アクション

- ▶ 北海道芦別市との出会い
- ▶ 校地校舎無償譲渡受け（芦別市）
- ▶ 道庁との交渉を芦別市と連携
- ▶ 法制度の最大限の解釈



1999 星槎国際高校設置

発展

- ▶ 全国唯一、47都道府県で教育活動を行える許可（学習センター方式）を受ける（全国20ヶ所）
- ▶ 日本初の登校型通信制
- ▶ 全国の学園内各校で学習可能
- ▶ 共感理解教育の浸透

星槎中学・高等学校

<p>背景と社会的必要性</p> <p>星槎の 一貫教育実践</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ <u>中学校年齢の受け皿がない</u> ➤ 教育課程の弾力的な運用の必要性 ➤ 学習困難生のための6ヵ年一貫教育 								
<p>壁</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 登校の義務付け ➤ 教育内容が画一 ➤ 義務教育における設置基準の厳格的運用 ➤ 中学校設置に対する抑制傾向・行政の無理解 								
<p>アクション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 横浜市旭区住民の理解と協力 ➤ 構造改革特区の活用（2005） <ul style="list-style-type: none"> ➤ 教育課程の弾力的運用 ➤ 校地校舎の借用可 ➤ ICTの教育活動への活用 								
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>2005 星槎中学校</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>2006 星槎高等学校</p> </div> </div>								
<p>発展</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 特区⇒全国制度化 ・ 不登校特例認定校 ・ 教育課程特例認定校 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">2012年</td> <td style="width: 50%;">星槎名古屋中学校</td> <td style="width: 25%; text-align: right;">開校</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2014年</td> <td>星槎もみじ中学校</td> <td style="text-align: right;">開校</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 特区⇒全国制度化 ・ 不登校特例認定校 ・ 教育課程特例認定校 	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">2012年</td> <td style="width: 50%;">星槎名古屋中学校</td> <td style="width: 25%; text-align: right;">開校</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2014年</td> <td>星槎もみじ中学校</td> <td style="text-align: right;">開校</td> </tr> </table>	2012年	星槎名古屋中学校	開校	2014年	星槎もみじ中学校	開校
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 特区⇒全国制度化 ・ 不登校特例認定校 ・ 教育課程特例認定校 	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">2012年</td> <td style="width: 50%;">星槎名古屋中学校</td> <td style="width: 25%; text-align: right;">開校</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2014年</td> <td>星槎もみじ中学校</td> <td style="text-align: right;">開校</td> </tr> </table>	2012年	星槎名古屋中学校	開校	2014年	星槎もみじ中学校	開校		
2012年	星槎名古屋中学校	開校							
2014年	星槎もみじ中学校	開校							

星槎大学

背景と社会的必要性

指導者不足
社会的認知

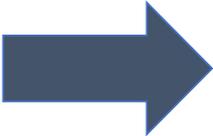
- 指導者育成の遅れ
- 学習困難生のための教員、指導者の不足
- 子どもの特性を理解する大人（社会）を増やす必要

壁

- 大学審議会、私学審議会の無理解
- 大学設立のための学問体系（〇〇学という学問体系）
- 校地校舎

アクション

- 共生科学としての学問体系化
- 北海道芦別市との連携
- 校地校舎無償譲渡受け（芦別市）



2004 星槎大学設置

発展

通信制のみの大学

- 現職教員が学ぶ
- 一学科ではあるが多様な教員免許取得課程（教育学部に匹敵）

教員免許更新制度の開始
→ 全国最多の受講生

通信制で唯一「保健体育教員免許」の取得が可能

星槎の共感理解教育とは

知識を獲得することに重点をおいた「知識理解教育」は
画一的授業方法にも適していた。



様々な弊害を及ぼすこともある

**共感理解教育は
人と関わるのが苦手であったり
表現が上手くいかずに苦しんでいた
社会適応ができずに困難を抱えていた者にとって
重要な試みであった**

共感理解教育と知識理解教育

知識理解教育

「知識」の価値：相対的に下落

インターネット・ドッグイヤー・マウスイヤー

第三者のフィルターを經由

政治的盲信・マスコミ・メディアの影響

正解を一つと信じ、求める心的態度

実際は正解は多数あり、可能性も。

一人でも完結する（してしまう）

場所文化・コミュニティは介在不要。

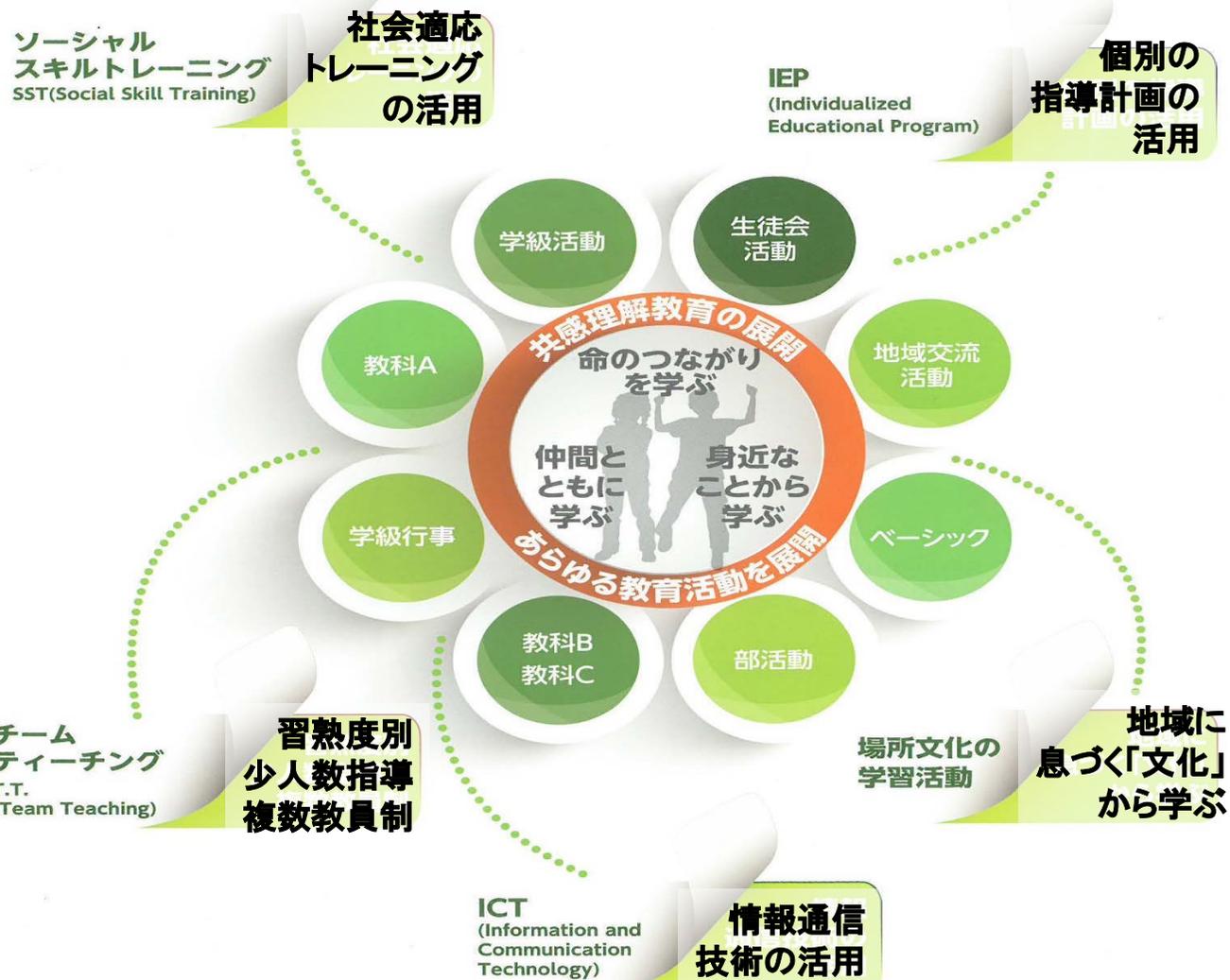
知識偏重の「勉強文化」

自らの成長との乖離 ⇒ 学びからの逃避

仲間と共に
学ぶこと

求められる
心のあり方

共感理解教育のイメージ



ソーシャル
スキルトレーニング
SST(Social Skill Training)

社会適応
トレーニング
の活用

IEP
(Individualized
Educational Program)

個別の
指導計画の
活用

共感理解教育の展開
命のつながりを学ぶ
仲間とともに学ぶ
身近なことから学ぶ
あらゆる教育活動を展開

チーム
ティーチング
T.T.
(Team Teaching)

習熟度別
少人数指導
複数教員制

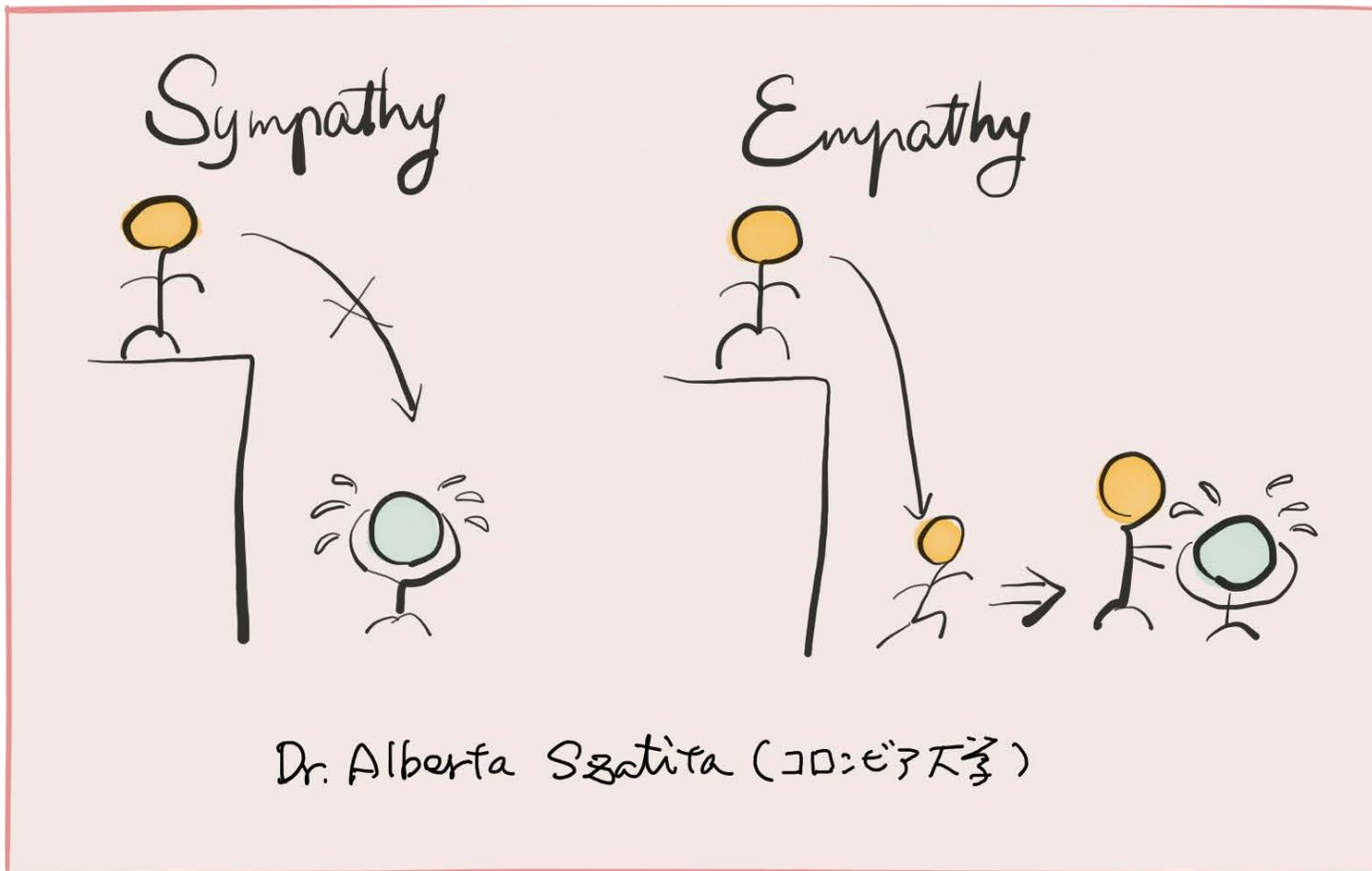
ICT
(Information and
Communication
Technology)

情報通信
技術の活用

場所文化の
学習活動

地域に
息づく「文化」
から学ぶ

共感～ Sympathy と Empathy



2020 & Beyond

スポーツを通じた途上国の青少年の育成

背景

日本におけるスポーツの興隆

野球、陸上競技、卓球、レスリング、体操競技、テニス、車椅子テニスなど国際的にも結果を出してきている

多様な価値の醸成

健康・協働・達成・一体感・帰属感・誇り・継続力・諦めない力 etc

途上国での有効性・必要性

スポーツが持つ価値の共有

政府等との協働&継続的取り組み

2020
オリパラ
東京大会

2024
2028
...

仲間として
国づくり・人づくり
に関わっていく

スポーツ・競技としての実績に加え、こどもたちを中心にお互いの違いを認めあい、尊重する学びの機会を創造していく

エリトリア国概要

State of Eritrea



国土：	約12万km ² 、6州より構成
人口：	約560万人、多民族国家（9つの民族、言語）
宗教：	キリスト教（正教、カトリック、プロテスタント） イスラム教、ユダヤ教、アンナ教共存
首都：	アスマラ
産業：	農業、鉱業
日本との関係：	親日的、日本初のアフリカ現地法人
国技：	自転車競技、陸上

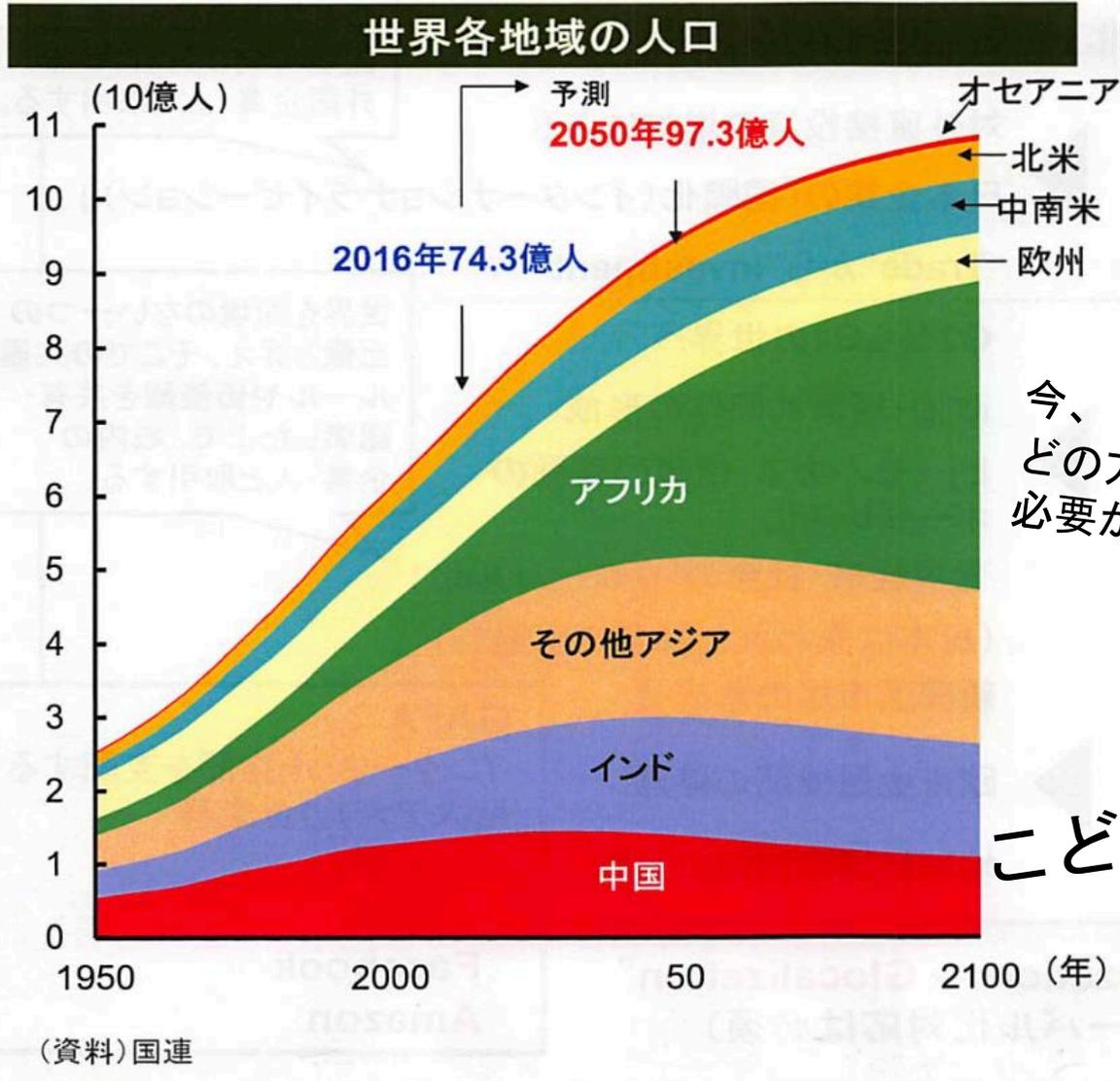
ブータン国概要

Kingdom of Bhutan



- 国土： 約3.8万km²、20の行政区より構成
- 人口： 約73万人
- 宗教： チベット密教が主、他にヒンドゥー教など
- 首都： ティンプー
- 産業： 農業、電力業、観光業
- 日本との関係： 親日、日本と戦争をしたことがない唯一のアジアの国
- 国技： アーチェリー

こどもたちがこれから生きてゆく世界



天然資源には**限り**
があると気づいた
最初の人類

それでも天然資源の
争奪戦は続く

今、**日本**が取るべき**舵**は
どの方向に向けることが
必要か？

こどもたちに何を伝えるか？

変化への気付き

人は急激な変化には驚き、対応を急ぐ。

しかし、ゆっくりと起きる変化に対しては驚くほど鈍感で、その対応を失うことが多い。

連続的に起きる変化のインパクト

世界の人口

1950年

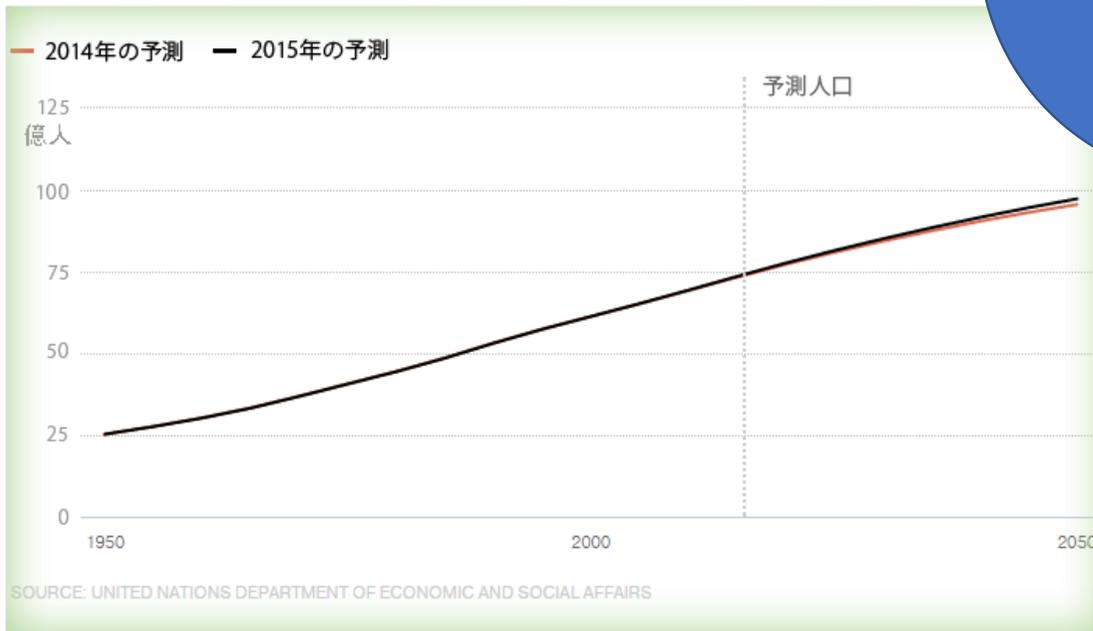
2017年

2050年

25億

73億

96億

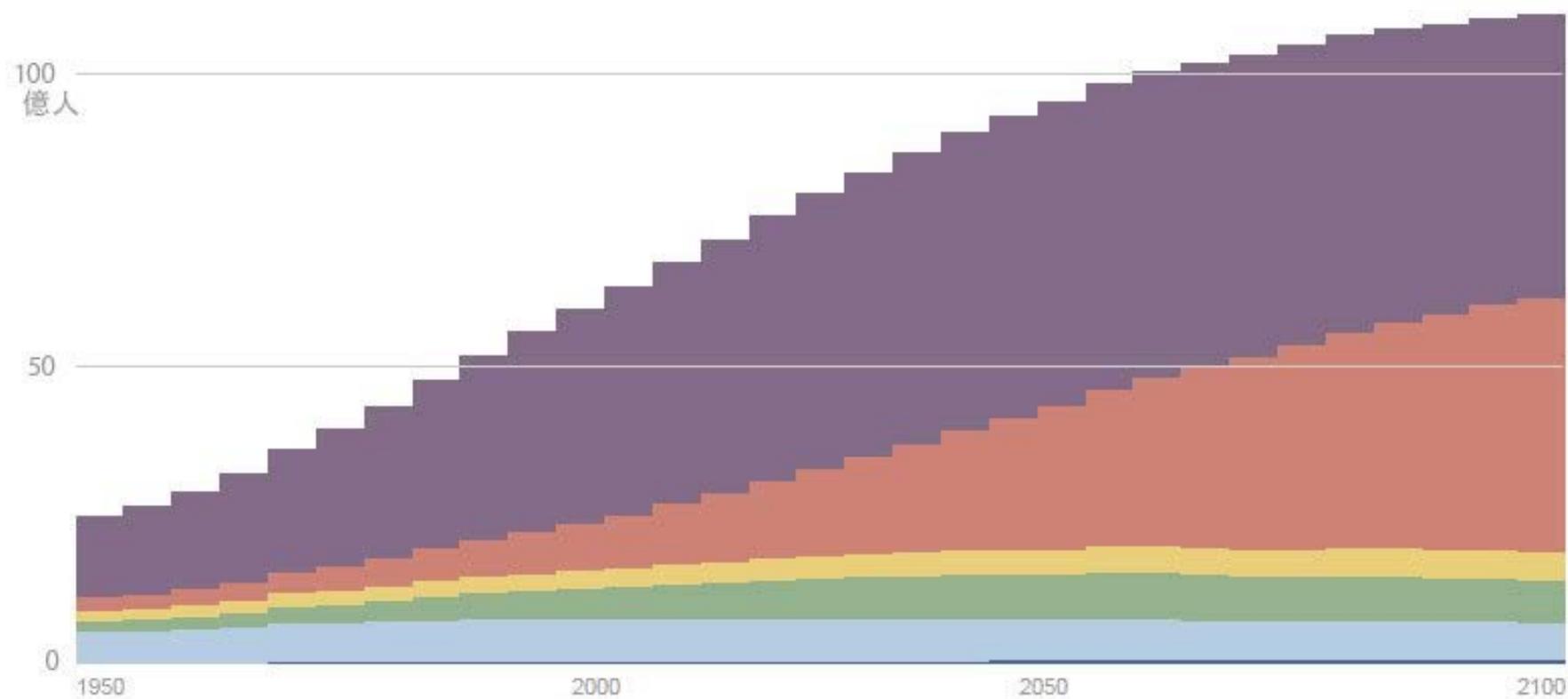


(出典：UNDESA,2017)

地域別人口増加予測

地域の区分は国連による

■ アジア ■ アフリカ ■ 北米 ■ 中南米およびカリブ海地域 ■ ヨーロッパ ■ オセアニア

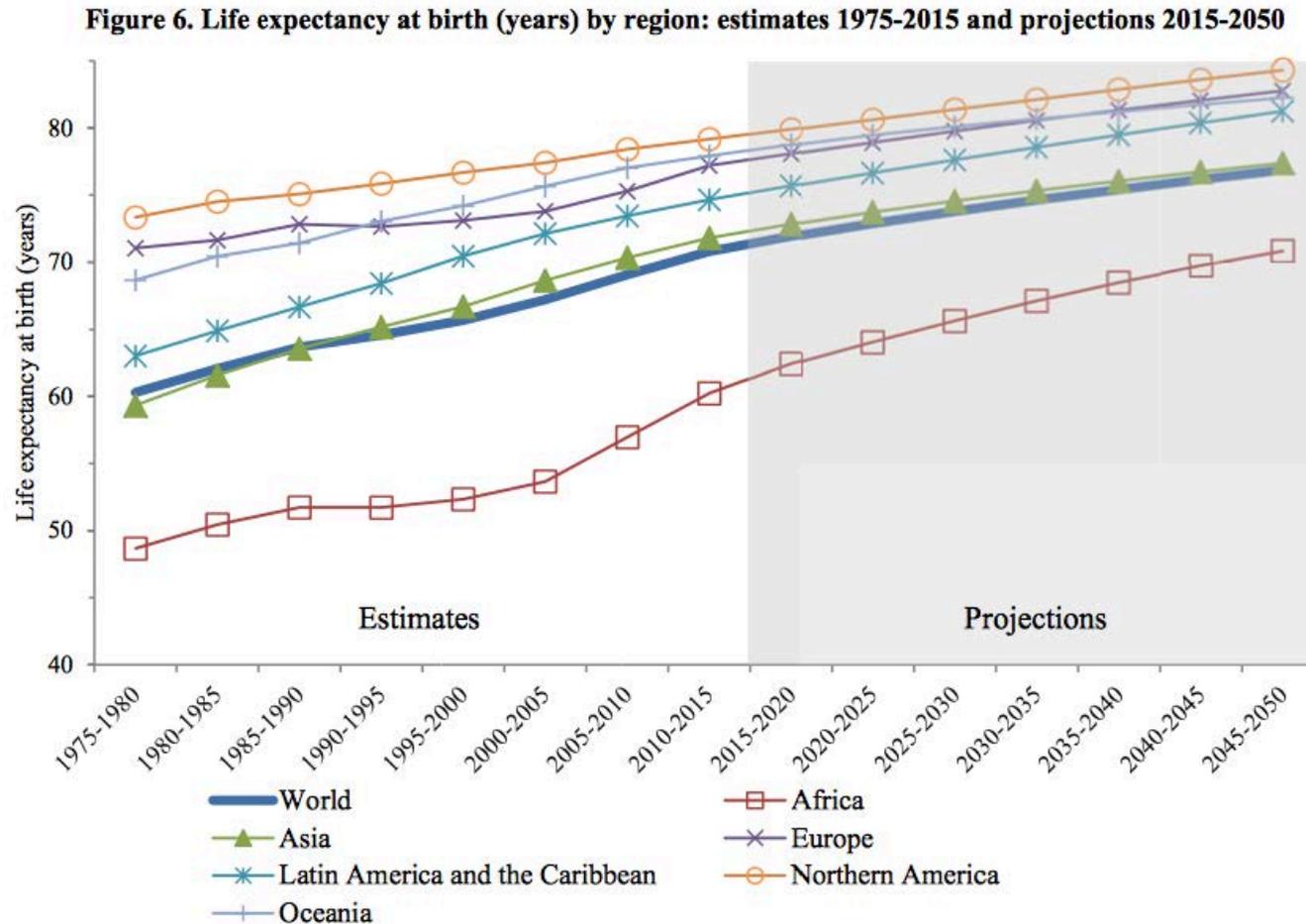


SOURCE: UNITED NATIONS DEPARTMENT OF ECONOMIC AND SOCIAL AFFAIRS

(出典：UNDESA,2017)

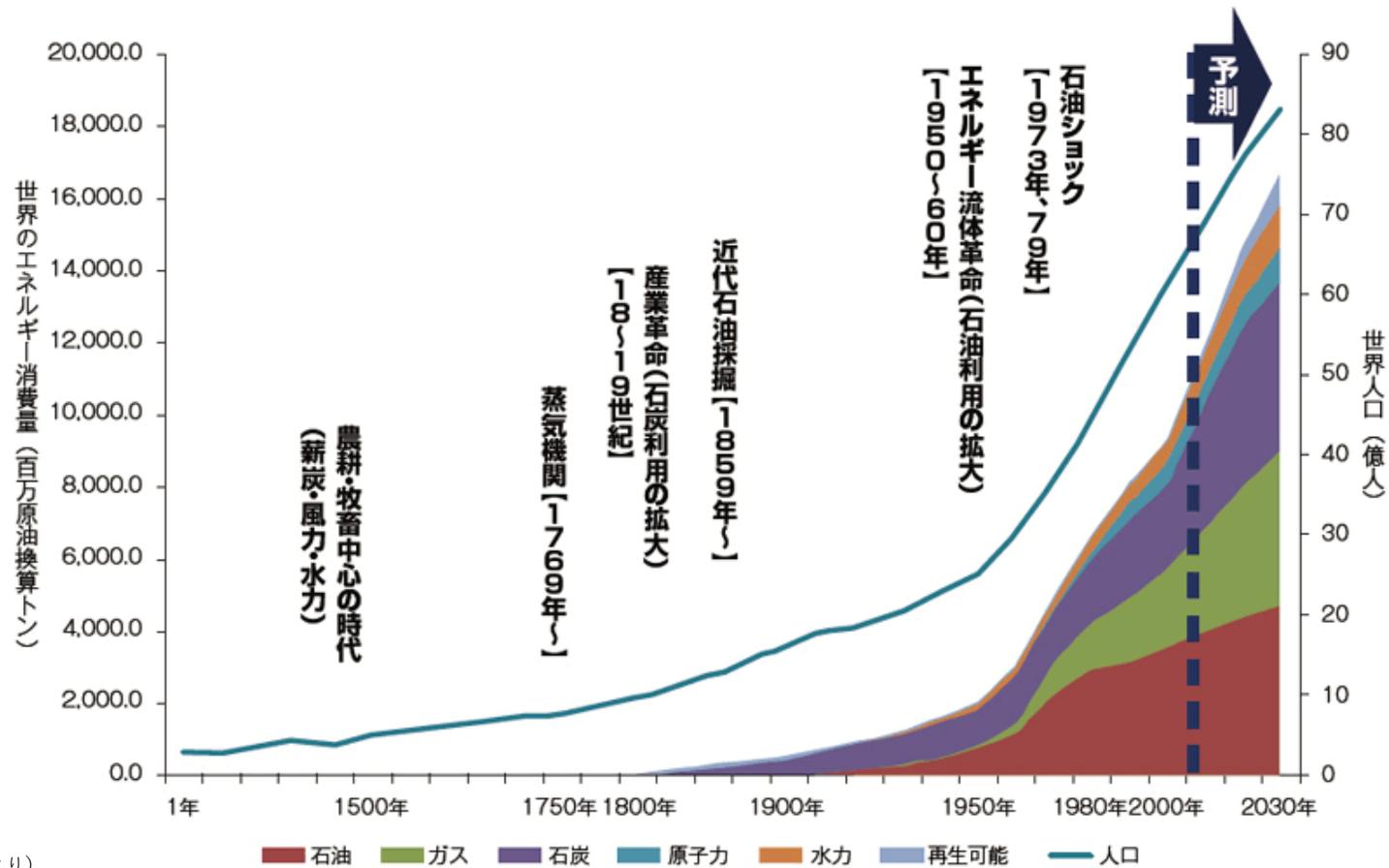
連続的に起きる変化のインパクト

世界の寿命



連続的に起きる変化のインパクト

世界のエネルギー消費量



(出典：資源エネルギー庁HPより)

United Nations, "The World at Six Billion/United Nations, "World Population Prospects 2010 Revision"/Energy Transitions: History, Requirements, Prospects/BP Statistical Review of World Energy June 2012/BP Energy Outlook 2030: January 2013

パラダイム自体の大きな変革

(2017, 寺島実郎)



人口爆発

化石燃料
の争奪戦
と脱却

資本主義
の限界

相互依存性と相互過敏性のディレンマ

個の強烈な自己主張と
全体としてのガバナンス喪失

地球規模的課題の共有

安定的に存在しうる国民国家を主な登場人物として
「国家の主権と内政不干涉」を原則とする世界秩序の終焉

ウェストファリア条約(1648)体制の終焉

世界を支配してきた経済学の欠点

アダムスミス（道徳感情論→国富論）

ジョン・スチュアート・ミル アルフレッド・マーシャル ジョン・メイナード・ケインズ等

→**経済学内への倫理学が当たり前前に包含されていた**

主に第二次世界大戦後の経済学より学問の体裁を整えるために
数学を取り入れ、倫理学を追い出した。

先を読むことに終始し、振り返って何をすべきかが困難に。

（経済学が世界を殺す～「成長の限界」を無視した倫理なき資本主義～ 著者: 谷口正次）

経済：大きなパラダイムの転換点

操作主義経済 ⇒ **複雑系**経済

貨幣経済 ⇒ **自発**経済

享受型経済 ⇒ **参加型**経済

無制限成長経済 ⇒ **地球環境**経済

知識経済 ⇒ **共感**経済

出典：田坂広志「財界」2010年5月25号

共感理解経済への「回帰」



目に見えない資本
バランスシートに表れない資本

新たな知識や智恵の創造

温かなお金が回る世界

マイケルポーター 「共通価値創造」

マイケルポーター（「競争の戦略」等著者）



**「経済的価値」と「社会的価値」
に共通の価値を創造することこそ、
企業の在るべき姿である**

（「ダイヤモンド・ハーバード・ビジネスレビュー」2011年6月号）

近江商人

三方よし

売り手・買い手・世間

の三方が喜ぶ商売が本当の商売である



確かな未来は
懐かしい過去にある

(2017 ローカルサミットin東近江)

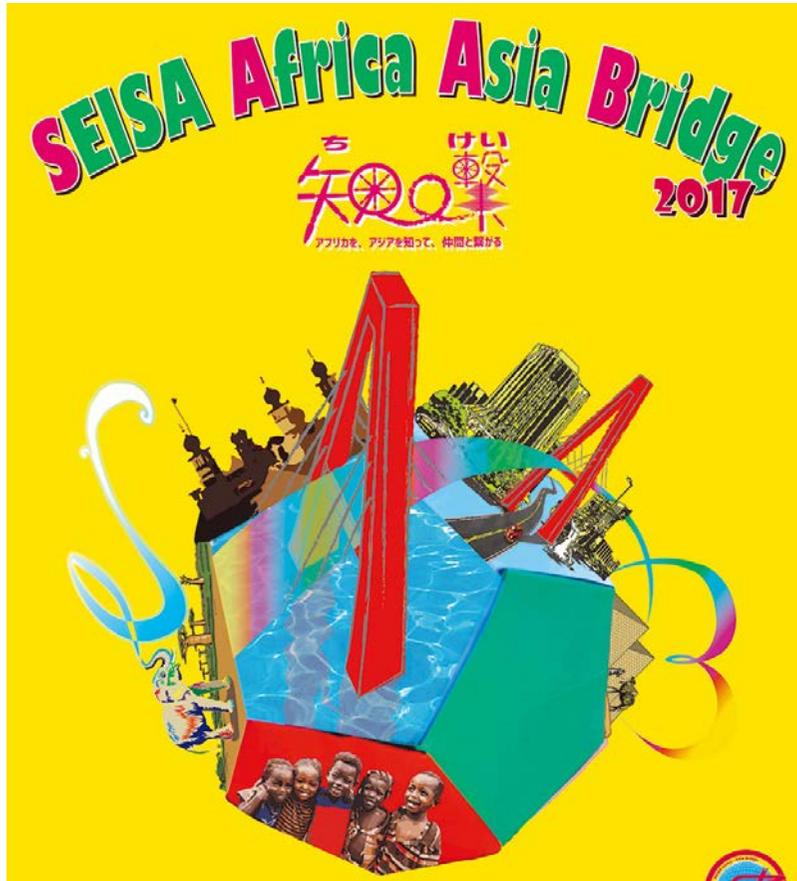
お金の温かさ

ち けい
知 繋

2016, 宮澤保夫

知って、繋がる
とは？

アフリカ・アジア を知り繋がる



知繋

SEISA
AFRICA
ASIA
BRIDGE



35カ国
7,247名

2017年11月11日(土)・12日(日) 星槎中学高等学校にて

平成29年度
宮澤保夫
外務大臣表彰

表彰状

宮澤保夫殿

貴殿は日本と諸外国との相互
理解の促進に尽力されもって
我が国と諸外国との友好親善に
寄与しその功績顕著なものが
ありますここに深甚なる敬意を
表するとともに表彰します

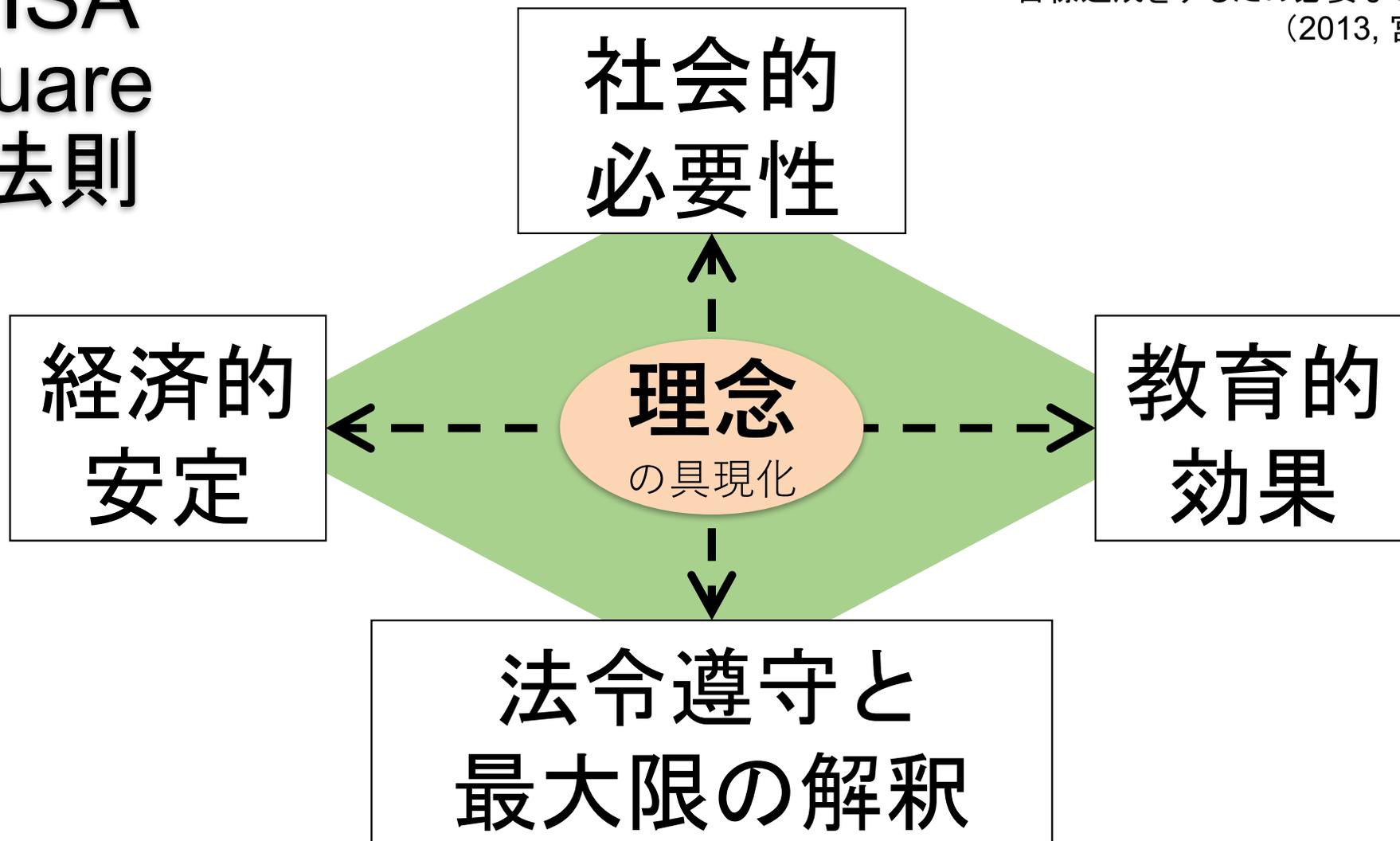
平成二十九年七月六日

外務大臣 岸田文雄



SEISA Square の法則

目標達成をするため必要な4つの要素
(2013, 宮澤保夫)



正しいことを
求めることは
しない

宮澤保夫

宝くじは
買わなきや
当たらない

宮澤保夫

笑顔の連鎖

人を認める

人を排除しない

仲間を作る

星槎の三つの約束

ハチドリの一としずく



森が燃えました

森の生きものたちは われ先にと逃げていきました

でもクリキンディという名のハチドリだけはいたりきたり

くちばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは火の上に落としていきます

動物たちがそれを見て

「そんなことをしていったい何になるんだ」といって笑っています

クリキンディはこう答えました

「私は、私にできることをしているだけ」

(南アメリカ、アンデス地方に伝わる物語より)

明日死ぬとしたら、生き方が変わるのか？

**あなたの今の生き方は、
どれくらい生きるつもりでの生き方なのか。**

エルネスト チェ ゲバラ

ご静聴ありがとうございました。

星槎 井上 一 拝